

■ 戦略研95th ミーティング議事録

日 時：2013年12月7日(土) 14:00-17:00

場 所：東京/竹橋 ちよだプラットフォームスクウェア

テーマ：「お金から考える戦略的なライフプラン

～たとえば、生命保険・医療保険はどこまで必要?～」

発表者：内藤真弓さん（ファイナンシャルプランナー）

参加者：参加者 13人（発表者を含まない）

（戦略コンサルタント、財務コンサルタント、会社員、経済アナリスト、
ビジネス研修講師、公共経営コンサルタント、シンクタンク研究員、
NPO 法人理事長、行政書士、司法書士等）

目次；

1. ファイナンシャルプランナー（FP）とは？
2. 減り続ける手取り
3. 保障を知る
4. 公的医療保険と民間医療保険の違い
5. まとめ
6. ワークショップ「10年先を見越してライフプランを作ってみる」

発表；

1. ファイナンシャルプランナー（FP）とは？

金融機関の社員の名刺に刷られていることが多いです。実際、金融機関に属している方が大多数です。独立系は少ないです。さらにビジネスとして成り立っているFPはさらに少ないです。ご相談者それぞれの考え方に合わせてアドバイスをしています。家計の見直し方、預貯金の仕方、保険の加入、見直し方などです。顧客の利益最優先が一番大事です。その人にとって最適なものは、客観的には合理性がないこともありますが、FPの存在意義はそこにあります。

2. 減り続ける手取り

以前は収入が年3%ずつ上がるのを前提としてキャッシュフロー(CF)表を作っていました。しかし、この10何年、手取りは減り続けています。しかも、生命保険に入ると使えるお金がさらに減ります。今使えるお金が減るだけでなく、将来使えるお金も減ることに注意が必要です。

まず、貯蓄に回すお金が減ります。これは住宅購入の際の頭金がない、あるいは少ないということにつながります。最近では物件価格が高額になり、返済額を抑えるため、変動金利を選ぶ傾向にあり、家計が金利変動リスクにさらされています。さらに長期のローンになっています。リタイアしてもローンが残る組み方になっているのが現状です。

3. 保障を知る

保障の全体像を理解する必要があります。生命保険、共済だけではありません。まずは公的保障、ついで企業保障、そしてヒトの保障があります。

税金や社会保険料は何のため？ 税金でカバーされるものの例としては乳幼児の医療費助成などがあります。公的医療保険で受けられる給付の例としては治療、高額療養費などがあります。公的介護保険もあります。公的年金で受けられる給付には遺族年金や障害年金などがあります。ただし、申請をしないと給付されません。役所の窓口でも知らなかったり、不勉強のときがあります。プロへの相談が大切です。

70歳未満の高額療養費制度。所得区分一般の自己負担は80,100円を超えたら1%に過ぎません。たとえば、医療費100万円でも自己負担は9万円弱になります。過去12か月以内に高額療養費が適用になる月が3回あると4回目からは上限額が44,400円に下がります。限度額適用認定証を医療機関に提示することにより限度額までの支払いで済み、還付請求の必要がありません。

70歳以上の高額療養費制度（外来）。月額12,000円を限度として、これを超えると医療費が戻ってきます。世帯合算もあります。財源のある自治体からは連絡が来ることもありますが、そうでない自治体の場合は連絡が来ることはないようです。

4. 公的医療保険と民間医療保険の違い

公的医療保険は、日本に住むすべての人が加入します。所得に応じた保険料、必要な治療を公的価格で給付します。民間医療保険は、加入の可否は保険会社が決めます。リスクに応じた保険料となり、定額の現金給付です。

公的医療保険の設計はオープン（国の審議会など）ですが、民間医療保険はブラックボックスにて保険の設計が決まります。

勤務先の保障も確認。健康保険組合や共済組合の付加給付はけっこう大きいです。自分の健康保険を確認することが大切です。健康保険以外にも差額ベッド代の補助、互助会、親睦会などからの補助などをする会社もあります。病気になって会社を辞めるのが一番のリスクだと理解してください。

民間医療保険って何？ 保険料は過去の確率をもとに計算します。常に後追いです。医療分野の給付は今後の政策に左右されます。保険は現金給付です。予防・防災にはなりません。

約款における「入院」の定義は「常に医師の管理下において治療に専念」とされています。

契約時の告知は慎重に。「2年経ったらなんでも保障される」は間違いです。告知義務違反とみなされると保険金はもらえず、払った保険料は戻ってきません。ケースによっては保険金を支給されても保険契約を解除されることがあります。

5. まとめ

- ・保険加入の留意点。医療制度、自分の資産状況、自分の考え方が変化することを前提としましょう。
- ・結論。医療・介護費は貯蓄で準備しましょう。
- ・保険より大事な3つのことは、①かかりつけ医を持つ、②介護に備えて準備する、③人のつながりを大事にすることです。

6. ワークショップ「10年先を見越してライフプランを作ってみる」

- ・家計運営の流れ。1年間に入ってくるお金を知る（予算を知る）
 - 1年間に出ていくお金を知る（お金の使い方のクセを知る）
 - 1年間の貯蓄額を知る（現時点のわが家の実力を知る）
 - 予算を立てて決算をする（単なる記録付けに終わらせない）。
- ・1年分の予算を立てる。わが家仕様の支出項目を作る（優先順位や将来の変化を見通す）
 - 年間のお金のスケジュールを立てる（事前準備を怠らない）
 - 年間の予算配分をする（実績を踏まえたうえで現実的に）
 - 月間の予算配分をする（実行可能な工夫をする）。

以上